



あす京都で「花の甲子園」

## 花の生命力伝えたい

### 初出場・平成高3人が意欲

京都市で14日に開かれる高  
校生の生け花全国大会「Ik  
enobo」花の甲子園2022  
で華道を始め、「生け花を通  
1」に、横手市の平成高校チ  
ームが初めて出場する。メン  
バー3人は、花の生命力が伝  
わる作品づくりを目指して日  
々稽古に励んでいる。

花の甲子園は池坊華道会が  
主催する日本最大の高校華道  
コンクールで、今年は各地区  
大会を勝ち上がった9チーム  
が出場。平成高チームは東北

地区大会で優勝した。  
平成高チームは地区大会で  
フトイ、ススキ、キイチゴな  
どを使い、横手市の豊かな自  
然を表現。川のせせらぎや豊  
かな大地、山々の様子を作品  
に反映させた。動画と写真で  
審査を受け、「水辺の情景が  
浮かび、表現力と技術力が素  
晴らしい」と評価された。  
全国大会は無観客で開く。  
チームの3人が1人当たり10  
分のリレー形式で花を生けた  
後、3分間のプレゼンテーシ  
ョンを行う。花は1種類のみ  
持ち込みでき、その他は運営

花の甲子園に出場する平成高校の（左から）真田さん、柿崎さん、佐藤さん

側が用意するため直前まで知生けたい、真田さんは「作りたい」と語った。  
ことができない。大会の様子の全体的なバランスを整え  
子は動画投稿サイト・ユーチ  
ユーブで生配信される。

平成高チームは現在、池坊  
の外部講師から指導を受けて  
いる。チーム名は「雪月花」  
で、地元横手市の自然の美し  
さをアピールする狙い。佐藤  
さんは「時間勝負で大変だけ  
ど表現力を大事にして頑張  
る」、柿崎さんは「細かいた  
ころに注意しながら楽しんで

（阿部拓郎）